



三重中央だより

当院の理念(Principle) ● いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。



当院における鎮痛分娩について



周産期母子医療センター部長
山口 恭平

本邦では無痛分娩の社会的ニーズが高まり、2024年は全分娩のうち13.8%が無痛分娩で、2018年の5.2%から約2.7倍へ拡大しました。一方で分娩を扱う一般病院・診療所は激減し、分娩は周産期センターへと集約が進んでいます。また地域差も大きく、東京都31.2%に対し三重県は6.5%と低水準で、特に地方では体制整備が喫緊の課題です。

当院は総合周産期母子医療センターとして、県内では三重大学附属病院、桑名市総合医療センターに続き、2025年4月より硬膜外無痛分娩を開始しました。導入に先立ち、産婦人科・小児科・麻酔科・助産師・看護師・薬剤師のワーキンググループを立ち上げ、院内アンケートや手順整備、教育資材の作成を重ね、「妊婦さんの主体的選択」と「医療安全の徹底」を基本方針としました。

麻酔は原則として産婦人科医が実施しますが、

肥満症例（BMI $\geq$ 30）、脊椎疾患、凝固異常などは麻酔科と連携して対応致します。現在は誘発分娩中に硬膜外麻酔を導入する「計画無痛分娩」を行っていますが、将来的には「オンデマンド対応」の拡充を進めてまいります。

実際に無痛分娩でご出産された患者さんからは「痛みが2-3割まで軽減し、産後の体力回復も良かった」「陣痛を適度に感じつつ出産できた」「無痛でなければ産めなかった。次子の時も希望したい」などの声が寄せられています。一方で、鎮痛導入による分娩進行の把握の困難さや人員確保などの課題もスタッフ間で共有するとともに、JALA（無痛分娩関係学会・団体連絡協議会）やJ-CIMELS（日本母体救命システム普及協議会）が主催する教育講座やシミュレーションコースを通じて体制の質を継続的に高めて参ります。

当院では無痛分娩を「痛みを和らげること」だけでなく、「安心安全・納得の出来る出産」を実現するための選択肢として提供し、開業医の先生方とも緊密に連携して地域の出産を支えてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

赴任された先生方

※診療科順

小児科 加藤 公也

2025年7月より小児科に赴任いたしました加藤公也と申します。2021年に三重大学医学部を卒業後、桑名市総合医療センターで初期研修を修了し、三重大学小児科医局に入局、現在は小児科専攻医3年目として研鑽を積んでおります。日々の診療を通じて、地域の皆様に安心と信頼をお届けできるよう、一人ひとりの患者さんと真摯に向き合い、努力を重ねて参る所存です。まだまだ未熟で至らぬ点も多いかと存じますが、諸先輩方のご指導を賜りながら成長して参りたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科 玉木 恒平

このたび小児科に着任いたしました玉木恒平と申します。新生児医療に強い関心を持ち、NICUでの診療やご家族へのサポートに真摯に取り組んでまいります。小さな命の成長を支えることに大きな責任とやりがいを感じており、日々の臨床経験から学びを深め、より良い医療を提供できるよう努めたいと考えています。至らぬ点も多いかと思いますが、諸先輩方のご指導をいただきながら精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



2025年 ミエチュウオウ

文化祭

「LINK繋がる思い、広がる未来」

2025年11月15日(土)
11:00~16:00

会場：三重中央医療センター
※看護学校学園祭同時開催

- 11:15~16:00 市民公開講座
- 11:00~15:50 健康チェック
- 子ども病院お仕事体験
- 11:00~15:50 キッチンカー・マルシェ



市民公開講座 開催報告

がん医療に関する市民公開講座の開催報告

呼吸器内科部長 内藤 雅大

この度、令和7年9月23日（火・祝）津久居アルスプラザ（ときの風ホール）において、がん医療に関する市民公開講座を開催いたしましたので、報告させていただきます。



がん死亡数第1位！これだけは知っておきたい！

肺がん医療の最前線 ～命を守る選択～

講演1 「肺がんとゲノム医療」

呼吸器内科部長 内藤 雅大

講演2 「こんなサポートします ～当院でがん治療を受けることになったら～」

がん薬物療法看護認定看護師 吉川 祐未

講演3 「がん治療にかかわるお金の話」

医療ソーシャルワーカー 三好 亮司

講演4 「肺がんの最新治療～低侵襲化手術を中心に～」

呼吸器外科医長 渡邊 文亮

肺がんは国内がん死亡数1位の状況が続いており、今後もその診療の重要度は高まっていくことが予想されます。今回は、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーの講演を通して、「肺がん（チーム）医療の最前線」についての情報をお届けいたしました。

当日は247人の市民の皆さまにお集まりいただき、誠にありがとうございました。参加いただいた皆さまからのアンケート結果では、「最新の肺がん医療を教えてもらい勉強になりました。」、「多職種がチームとして対応する体制を頼もしく感じました。」などの感想をいただいています。

本当のチームワークとは、1+1が3にも4にもなることです。しかしながら、これが乱れてしまうと、2にもならなくなってしまう。私たちは、それぞれの強みを生かしつつ、同時に足りない部分を補い合いながら、チーム医療を行っています。共通の目標は、経験とエビデンス（科学的な根拠）のどちらかに偏ることなく、まず「患者さん（人）をみる」ことを心がけ、一人一人に応じたベストのがん医療を実践することです。

最後に、三重大学病院ゲノム診療科の先生方には、日頃から連携していただき心より感謝いたします。

三重県のがん患者さんの診療に貢献できますように、一層の努力をしてみたいと思います。これからも、三重中央医療センターをどうかよろしくお願い申し上げます。



第16回三重中央医療センター地域医療連携交流会を開催しました



地域医療連携室

令和7年9月18日（木） 18時からホテルグリーンパーク津において、第16回三重中央医療センター地域医療連携交流会を開催しました。

当院が常日頃よりお世話になっております地域の病院、開業医の先生方にもたくさん御参加いただき、当院のスタッフも含め総勢116名でのにぎやかな開催となりました。下村院長から開催の挨拶に始まり、地

域医療連携室室長の葛原医師を座長として、総合周産期母子医療センター部長の山口医師による「当院における鎮痛分娩について」という題目で講演を行いました。講演会終了後は、地域医療連携の病院、開業医の先生方と意見交換を行う場として、懇親会を開催しました。今後も「顔の見える」関係が維持できるように、連携強化に努めていきたいと思ひます。





専門・認定看護師の紹介

がん薬物療法を受けるあなたの力になります

がん薬物療法看護認定看護師 吉川 祐未

がん治療にはいくつか種類があります。その中で薬（抗がん薬）を使って行うがん治療を「がん薬物療法」と言います。がん薬物療法は日々進歩し、抗がん薬の種類は増え続けています。また、がん治療は遺伝子レベルで行われるようになり、一人ひとりに適した治療を行う「個別化治療」の時代になりました。がん治療の進歩に伴い、がん患者さんは診断を受けた後、治療法や治療を受ける施設など、とても多くのことを決めなければなりません。しかし近年、書籍やテレビ、ブログなど、がんに関する情報は溢れ、患者さんにとって正しい情報を得ることが、かえって難しいという現状もあるのではないのでしょうか。がん薬物療法看護認定看護師は、がん薬物療法に対する専門的な知識をもち、治療法を選択する時、治療期、治療を終える時期の看護を専門としております。そして、がん薬物療法に伴う副作用のケアだけでなく、「どの治療を選択するのか」、「治療を受けるか、受けないのか」など、患者さんとそのご家族が治療方針を選択する支援をさせていただきます。三重中央医療センターには、がん薬物療法看護認定看護師が2名在籍し、西6病棟、東7病棟で勤務しております。私たちは、患者さんやご家族からお話を聞かせていただき、お悩みに応じた解決策と一緒に考えることで、患者さんが前に進むことができるよう、支えになりたいと考えています。相談窓口として、「がん相談支援室」を開設しています。がん治療中の方だけでなく、がんと診断されたばかりの方も、どうかひとりで抱え込まず、お話しに来てください。まずはお気軽にお声がけください。

患者支援センター ご利用方法

- ・開室時間 8:30～17:00（平日の月曜日～金曜日）
- ・ご利用希望の方は、**1階患者支援センター相談窓口**まで相談ください。
- ・休日・時間外は救急外来受付が窓口となりますが、平日での対応となりますのでご了承ください。
- ・ご入院中の場合は病棟看護師へお申し出ください。
- ・当院の医療、サービス全般に関するご意見・ご要望もお受けいたします。

- ・医療費や生活費などの経済的問題に関する相談
- ・社会制度、社会保険制度等紹介
- ・制度の利用相談

医療福祉ソーシャルワーカー



- ・日常生活でご不安なこと
- ・困っていること
- ・医師からの説明等ご不明なことについて

がん相談支援看護師



- ・こころの悩み
- ・不安・心配ごとなどの相談

臨床心理士



- ・医療安全に関する相談

医療安全担当者



- ・退院後も安心して、生活出来るように支援します

退院調整看護師



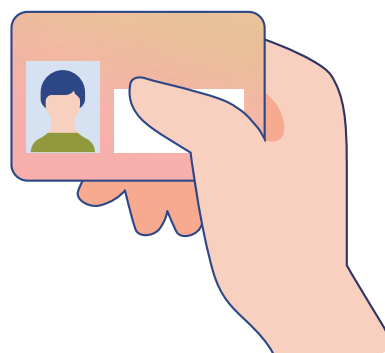
2024.4

当施設はマイナ保険証が スマホでも使えます

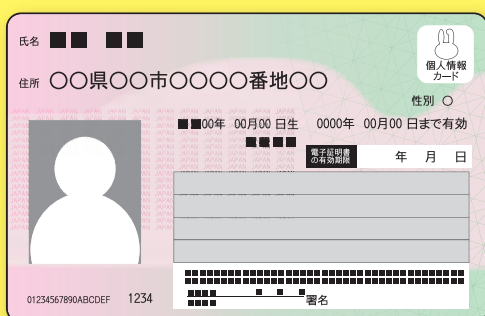
スマホでも



カードでも



当院では厚生労働省所管の医療機関として、マイナンバーカードを健康保険証として利用することを推奨しております
保険証確認の際にはマイナンバーカードの提示をお願いします



独立行政法人
国立病院機構

「里山こころの便りー柎原の窓から」

脳波とは？

脳波は、脳の神経細胞が活動するときに生じる微弱な電気活動を、頭皮に装着した電極を通じて記録する方法です。多数の神経細胞が同時に興奮すると、その電気活動が頭皮まで伝わり、脳波計で測定することができます。

1929年、ドイツの精神科医ハンス・ベルガーが世界で初めて人間の脳波を記録し、安静時に見られるアルファ波を報告しました。脳波には特徴的なリズムがあり、周波数ごとに名称が付けられています。8～13Hz（1秒間に8～13回の波が現れる）のアルファ波は目を閉じてリラックスしているときに優勢に現れ、13Hz以上のベータ波は注意集中や緊張状態と関係します。さらに、浅い睡眠で見られるシータ波（4～7Hz）、深い睡眠で優勢となるデルタ波（0.5～3Hz）も重要です。また、40Hz付近のガンマ波は記憶や意識、知覚統合と関わりと考えられ、神経科学研究で注目されています。

診療の場面では、脳波はてんかんの診断に欠かせない検査です。また、睡眠障害、意識障害、認知症の評価にも用いられます。さらに近年は、統合失調症や自閉スペクトラム症における脳機能の特徴を調べる研究にも活用され、精神疾患の理解に役立っています。

一方で脳波は医療だけでなく、ブレイン・マシン・インターフェースの分野でも応用が進んでいます。脳波を利用してコンピュータや機械を操作する技術は、重度の身体障害を持つ方のコミュニケーション支援や義肢操作など、生活の質を向上させる可能性を秘めています。脳波は頭皮に電極を貼るだけで計測でき、痛みもなく安全です。誰にでも使えるこのシンプルな方法は、脳の活動を知るための「窓」として、医学、工学、心理学の分野で今後ますます重要な役割を果たしていくでしょう。



柎原病院 院長
鬼塚俊明

「クローバー友の会」 会 員 募 集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は当会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

独立行政機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158番地5
TEL 059-259-1211 内
地域医療連携室

独立行政機構
三重中央医療センター
クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくごとに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。特典は変わることがあります。)

■会員登録

住所 _____

氏名 _____

電話 _____

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編 集

後 記

長い長い夏が終わりに差し掛かり、やっと秋といういい季節がやってきました。みなさまは「〇〇の秋」でしょうか？

私はもちろん「食欲の秋」。季節のものを一番おいしい状態でいただけることは、栄養価も高く体にいいことはもちろん、心にもいいことです。

最近はお気に入りの和食のお店を見つけ、四季折々の食材を目で楽しみ、美味しくいただき、幸せな気分になって、「明日から仕事もがんばろー！」とご褒美ランチを楽しんでいます。

(Y)

発
行
所

三重中央医療センター

院長 下 村 誠

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL 059-259-1211

<https://miechuho.hosp.go.jp>



三重中央医療センター
インスタはじめました

病院イベント、スタッフの日常、医学情報の日常などを発信します(^@^)



三重中央医療センター【公式】
アカウント: miechuomc

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●

まつお内科クリニック

ホームページ：<https://matsuo-naika.clinic/>



事習慣のどこをどう見直せばよいのか、一緒に取り組んでいきましょう。

また、腎臓分野を専門領域として
います。検尿異常や腎機能の低下を
指摘されることがあれば、ご相談く
ださい。

2024年11月、津市河芸町に開院しました。地域のかかりつけ医として内科一般の診療を行っています。

特色として、食事療法に力を入れています。食事を少し変えるだけで劇的に血圧や血糖値、コレステロール値が改善する方は多くいらっしゃいます。現在の食

院長：松尾 浩司
住所：〒510-0306 津市河芸町一色60-1
電話：059-269-7201 FAX：059-269-7202
診療科目：内科・循環器内科・腎臓内科・消化器内科
休診日：水曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8：30～17：30	○	○	△	○	○	△	△

△土曜日の診療時間は8：30～12：00

医療法人 メディカルコミュニティズ 津田クリニック

ホームページ：<http://www.m-tsuda.com/>



当院は、近鉄久居駅に隣接するポルタひさいの2階と3階にあります。

内科と脳神経内科を中心に診療を行っています。

当院では様々な疾患に対応するため、種々の検査機器を揃えています。

MRI・CT・レントゲン撮影・脳波検査・神経伝道

速度・エコー・心電図・ホルター心電図・スパイロメータ・眼底カメラ・睡眠時無呼吸検査・重心動揺検査・位相差顕微鏡検査・サーモグラフィー・骨密度測定・血圧脈派検査などがあります。

今年で開院27年になりますが、これからも患者様のお役に立てるよう努力していきたいと思ひます。

院長：津田 光徳
住所：〒514-1118 津市久居新町3006
ポルタひさい2・3F
電話：059-259-1212 FAX：059-259-1213
診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
休診日：木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8：30～13：00	○	○	○	△	○	○	△
15：00～17：00	○	○	○	△	○	△	△

津さくらばしクリニック

ホームページ：https://tsu-sakurabashi-clinic.com



旧イオン津店横、バイパス沿いに開業させていただき8年が経過いたしました。未だにお花屋さんやカフェと間違えられるクリニックです。

三重大学附属病院で心臓血管手術に30年間従事した経験より、不整脈や狭心症、心臓手術後などの循環器疾患治療に加え、生活習慣病をしっかり管理し動脈硬化による病気から皆様の心臓や脳、腎臓などを守ることを心がけて診療して参りました。

また心臓血管外科医として研鑽した技術を生かし地域医療に貢献するため身近なクリニックで下肢静脈瘤の日帰り手術を開始し8年間で約1300件の手術を手掛ることができました。この間、下肢潰瘍症例や深部静脈血栓後症候群などの治療難渋例を経験したことより、

下肢の血管がぼこぼこふくれ、だるさや痛み、こむら返り、かゆみなどが出現したら早めの治療が重要と思われます。また突然足のむくみが発生し胸が苦しくなった場合は深部静脈血栓症・肺塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）の可能性があります。当院と三重中央医療センターをはじめとする津市近郊の基幹病院と連携して診療に当たりますので遠慮なく受診していただけたらと思います。

なお下肢疾患の場合はエコー検査が必要なことが多いので、待ち時間短縮のため急患以外はご予約のうえでの受診をお願いできたらとおもいます。

院長：下野 高嗣

住所：〒514-0003 津市桜橋3丁目446-20

電話：059-272-9271

診療科目：内科・循環器内科・心臓血管外科・外科

休診日：月曜・日曜（第1週と第3週日曜午前は診療）・祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祭日
9:00~12:00		○	○	○	○	○	★	
16:00~18:30		○	○	○	○	△		

△土曜午後の診療時間は16:00~18:00

★第1週と第3週日曜午前は診療

さや内科・糖尿病クリニック

ホームページ：http://saya-cl.com



広い治療が可能です。

糖尿病をもつ人も糖尿病をもたない人と同じように、楽しく幸せな人生を送っていただけるよう、スタッフ一同、サポートさせていただきます。

当院は2025年9月「専門性の高い糖尿病治療を気軽に受けられるクリニック」を目指して久居に開業いたしました。

管理栄養士が常勤し、患者様にあった食事療法の提案を行っております。総合病院と同等の検査機器を導入し、即日結果がわかるため、その日のうちに診断や薬の調整が可能です。GLP-1・インスリン・インスリンポンプ療法や持続血糖モニタリングなど高度で幅

院長：井田 紗矢香

住所：〒514-1101 津市久居明神町1200番1

電話：059-271-7138

診療科目：内科・糖尿病内科・甲状腺／肥満症

休診日：水曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30	○	○		○	○	△	
14:00~17:00	○	○		○	○		

【特記事項】○一般診療 △土曜日は9:00~13:30

★第一土曜日と第三土曜日は井田 諭医師との二診体制です



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。
●医師の人事異動・出張等により臨時に代診（休診）となる場合があります。

2025.10.1 現在

診療科名等			月		火		水		木		金	
初 診 内 科 (初診・予約外)	1 診		井端 英憲【呼】	後藤 浩之【糖】	田中 淳子【循】	渡邊 典子【消】	葛原 正樹【消】					
	2 診		新谷 卓也【循】	内藤 雅大【呼】	宗吉 佑樹【糖】	岡戸 亮【循】	岡崎 貴大【循】					
	3 診		松嶋 竜太郎【消】	倉田 一成【消】	野田 悠介【消】	宮原 健吉【糖】	宮原 健吉【糖】					
	4 診		森田 大智【呼】	福岡 秀介【循】	坂倉 康正【呼】	西村 正【呼】	垂見 啓俊【呼】					
再 診 内 科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5 診			森田 大智(2,4,5週)【呼】							
		6 診	坂倉 康正	西村 正	井端 英憲	内藤 雅大	久留 仁【呼】					
		(整形1 診)		藤本 源								
		(整形2 診)		井端 英憲								
		(整形3 診)				井端 英憲						
	循環器内科	5 診	田中 淳子	岡戸 亮		午前 福岡 秀介【循】 午後 中村 洋輔【糖】	福岡 秀介					
		消化器内科	7 診	葛原 正樹	野田 悠介	渡邊 典子	松嶋 竜太郎	倉田 一成				
	内 科	8 診	岡崎 貴大【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	後藤 浩之【糖】						
		9 診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	宮原 健吉【糖】	田中 剛史(初診)【糖】	田中 剛史【糖】					
		10 診		宗吉 佑樹【糖】	内藤 雅大【呼】	三重大学医師【糖】	岡野 智仁【呼】					
		(泌尿器1 診)	宗吉 佑樹【糖】									
	(泌尿器2 診)											
		腎臓内科(内科10 診)	村田 智博									
	肝臓内科(内科5 診)				吉川 恭子(1,3週)【消】							
(整形2 診)					吉川 恭子【消】							
ペースメーカーチェック(14ブロック)	ペースメーカーチェック(毎月第1月曜日午後)				ペースメーカーチェック(毎月第1木曜日午前)							
脳 神 経 内 科	1 診		北川 長生	北川 長生	北川 長生	有川 茂雄	新堂 晃大					
	2 診		大内 智洋	有川 茂雄	松岡 知也	大内 智洋	松岡 知也					
	心外											
	呼外				松岡 知也							
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午 前	1 診	井戸 正流(初診)	櫻井 直人(初診)	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)					
		2 診	小川 昌宏(2,4週) 大森 あゆみ(1,3,5週)	小川 昌宏	内菌 広匡(2,4週) フォローアップ健診	内菌 広匡	大槻 祥一郎					
		3 診	田中 滋己	親子支援	代 診	小川 昌宏	北村 創矢(予約)					
		4 診(発達外来)	杉野 典子	杉野 典子	杉野 典子	杉野 典子						
	午 後	1 診	小児外科医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週) 櫻井 直人(2,4週)	大森 あゆ美(1,3,5週) 佐々木 直哉(2,4週)					
		2 診	小児神経外来 内菌 広匡(2,4,5週)		佐々木 直哉(1,3,5週)	内菌 広匡(1,3,5週)	成長外来					
		3 診	小川 昌宏(1,3週)	NICU連携 心エコー外来(1,3週)	小川 昌宏		シナジス外来					
		4 診(発達外来)	杉野 典子	杉野 典子	杉野 典子	杉野 典子						
消 化 器 外 科	1 診(初診)		湯浅 浩行	外科医師	草深 智樹	信岡 祐	川北 航平					
	2 診(予約)		信岡 祐	山路 隆斗	水上 拓哉	林 麻美	湯浅 浩行					
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)							安達 勝利					
乳腺外科(予約のみ)			外科2 診				野呂 綾					
整 形 外 科 (紹介のみ)	1 診		田中 雅		山口 敏郎		田中 雅					
	2 診		山口 敏郎		森川 正和		今野 千尋					
	3 診		森川 正和		今野 千尋							
形成外科 診療時間 9:00~11:30 (初診は紹介状持参) ※初診予約は地域医療連携室より	呼外1 診		細見 謙登(三重大学医師) (第4週はオペ日の為、休診)									
	脳外2 診				石浦 良平(三重大学医師) (第2週はオペ日の為、休診)							
脳神経外科	1 診(初診)		石田 藤麿	山中 拓也	池澤 宗成	深澤 恵児	山本 陽子					
	2 診(予約)			石田 藤麿		池澤 宗成(午前)	深澤 恵児					
脊椎・脊髄外科 (予約・紹介のみ)			脳外2 診			池澤 宗成(午後) (初診及び再診は13:00~15:00)						
呼 吸 器 外 科			1 診	午前：安達 勝利 午後：篠田 真里			安達 勝利					
心臓血管外科			浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄					
皮膚科(初診は紹介状のみ・完全予約制)			中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子					
泌 尿 器 科	1 診		手術日	長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘					
	2 診		手術日	荒瀬 栄樹	手術日	荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹					
	整形3 診(火、金曜日)											
	整形1 診(木曜日)			服部 優奈		服部 優奈	服部 優奈(初診)					
産科・婦人科	午前	1 診	村上 菜々子(初診)	山口 恭平	榎本 尚助(初診)	榎原 洸太(初診)	下村 優莉奈(初診)					
		2 診(婦人科再診)	高橋 和哉	高橋 和哉(初診)	榎原 洸太	村上 菜々子	交代制					
		3 診(産科再診)				吉村 公一						
		4 診(助産師外来)		毎日、完全予約制(担当は交代制)								
	午後	1 診(産科再診)	村上 菜々子	高橋 和哉(初診)	榎本 尚助	榎原 洸太	下村 優莉奈					
		2 診(婦人科再診)	高橋 和哉	山口 恭平	榎原 洸太	村上 菜々子	交代制					
		3 診		産後一ヶ月健診		吉村 公一						
		4 診		毎日、完全予約制(担当は交代制)								
眼 科			乙田 泰志	乙田 泰志	乙田 泰志	三重大学医師	乙田 泰志					
耳 鼻 咽 喉 科	午前(初診)			西田 幸平/乙田 愛美	伊藤 由紀子	西田 幸平/乙田 愛美	西田 幸平					
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子	西田 幸平/乙田 愛美		西田 幸平/乙田 愛美	伊藤 由紀子/西田 幸平					
放 射 線 科	画 像 診 断		初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕					
	放 射 線 治 療 (事前予約のみ)		午前 午後	二見 友幸								
歯科・歯科口腔外科	午前		柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子		柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子						
	午後		柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/三重大学医	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀					
看護外来(予約のみ)			第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来					

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談	水頭症外来
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日 (完全予約制)	月曜日 午後診療	木曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	形成外科(細見/石浦)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(新堂)	脳神経外科(石田)	脳神経外科(深澤)
脊椎・脊髄外科専門	肺病・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	助産師外来	おっぱい外来(予約)	乳腺外科(予約)	膠原病内科	
木曜日(13時~15時) (要予約・紹介)	火・金曜日 午前診療	月・水・木・金曜日 午前午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療		木曜日
脊椎・脊髄外科(池澤)	呼吸器外科	産 科		乳腺外科(野呂)		三重大学医師(中村)